

第2回 移動等円滑化評価会議沖縄分科会 議事概要

日程：令和2年8月27日（木） ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う沖縄県独自の緊急事態宣言の延長（R2.8.1～8.29）に伴い書面開催

○沖縄バリアフリープロモーター制度要綱(案)について

→委員全てから「異議なし」との御意見

○沖縄バリアフリープロモーター候補者事務局推薦について

→委員全てから「異議なし」との御意見

○その他今回の分科会の議事内容等についての御意見、御質問等について

→以下の整理表のとおり

地域	モード	組織	委員等	項目	内容	事務局・分科会長等から回答
沖縄	当事者関与	公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会	田中	バリアフリープロモーターの選定	移動が困難な障害のある人として身体的障害者の想定は必然だが、もし可能であれば、福祉バリアフリーの広域的な観点から、日常的に見逃される機会が多い内部障害（知的、精神、発達、難病）関係者からもバリアフリープロモーターの選抜を検討して頂けると有り難い。	【事務局回答】 今回の事務局推薦案は、 ・今回の「バリアフリープロモーター」が従来のバリアフリーリーダーとバリアフリープロモーターを統合したものであること ・事務局推薦案の3者が従来のバリアフリーリーダー及びプロモーターとして認定されていることを踏まえ提案したものの、「バリアフリープロモーター」の人数に上限は設けていない。 御指摘のとおり、内部障害についても対応していかなければならないと考えているので、具体的な適任者の案があればぜひ推薦いただきたい。 次回の分科会で提案を検討する。
沖縄	表示改善	NPO法人バリアフリーネットワーク会議	親川	空港バス乗り場の並び方に係る表示改善	那覇空港の高速バス停に関し、系統が同じバス停であるため、利用者が縦に並んだり横に並んだりなど混乱している。特に最終便などは、5分違いで2系統が到着するため、私も利用者として困惑している。羽田のように、系統番号等を地面に印字等をすれば、ストレスもなくなるし、利用者同士のいざこざもなくなるかを感じる。本土の人は道路に沿ってバス停に並ぶが、沖縄の人は道路に向かって垂直に並ぶため、お互いどこに並べばよいかストレスになる。バス停と道路に対し、道路に並行するように、系統番号ごとに地面に並ぶ枠を表示すると、利用者利便が向上するのでは。普段利用する乗り場に来る高速バスにバリアフリー対応のバスはなく、高速バスのバリアフリー化まではすぐに求めるものではない。点字ブロックが干渉する場合は、点字ブロックを多少ずらして整備してもよいと思う。	【沖縄県バス協会回答】 ・空港のバス停及び待合について、混雑防止と快適に行列に並べるよう、他の乗り場も含め、路面標示による案内と乗車方法について検討する。 ・高速バス車両のバリアフリー化について、現在運行している高速バス車両は、荷物スペースを確保するため貫切バス仕様の車両となっていることからバリアフリーに対応していない状況だが、バリアフリー対応車両（リフト付きバス等）の導入について関係バス事業者にお願していくこととした。 【那覇空港ビルディング回答】 系統番号の地面への印字に関しては、経年劣化が早いので誘導員の配置の方が良いのではと考えるが、バス協会から要望があれば印字を許可する方向で検討したい。 【事務局回答】 両者が円滑に進めていけるよう調整していきたい。
沖縄	基本方針	NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会	仲根	基本方針策定に向けてのプロモート活動	市町村バリアフリー基本計画策定促進について、浦添市が「福祉のまちづくり条例」を制定していること、ゆいレール延伸駅整備の状況を勘案し、プロモート活動推進を望む。	【事務局回答】 平成31年2月に浦添市に対しヒアリングを行ったところ、 ・バリアフリー化に向けて街を整備していかないといけないとの認識はあるが、実現するには民間事業者との連携も重要と考えている。 ・現在、モノレール延伸に併せてコミュバス（低床バス）導入に向けて動いているので、まずそちらを優先したい。 ・マスタープランについてはできるところから検討していきたい。 とのことだった。 上記を踏まえつつ、引き続き働きかけを行っていく。